

＜第4回＞～あなたの会社を作きましょう～

あなたは、以前から夢があります。

あなたの国の「〇〇〇」を日本で売ることです。（〇〇〇は、各自で考えてください）

まだ日本では知られていないですが、「〇〇〇」は非常に有名ですごい商品です。

たぶん日本人も、気に入ると思いますし、ほしいと思うものです。

そして、あなたは長年の夢をかなえるためにお金を貯めて、日本で会社を興すことにしました。

事務所も、大阪の街で見つけることができました。

さあ、これから会社を作るために、何人かの人を雇わなければいけません。

今の予算の関係で5人の人間を募集して採用しようと思います。

新しい会社を立ち上げるために、あなたは、どんな人材を募集しますか。

会社を作るために必要な人材（職種、役割）とは、

「〇〇〇」を日本で売るために必要な人間（条件、資格）とは、

自分と一緒に働いてくれる人はどんな人がいいか、を考えて、

最終的には求人募集案内を作ってください。

1. まず、「〇〇〇」を売るために、どんな職種、役割があると思いますか。（何ができる人、何に詳しい人が必要だと思いますか。

必要な順に挙げて、その理由も答えてください。

2. 「△△△ができる人、何に詳しい人」がわかるためには、どんな条件、資格などが必要ですか。

3. その他に、どんな条件の人が来てほしいですか。

4. 以上の条件を考えて、募集要項を作ってみましょう。



名 前 _____.

★ 話し合いが終わってから、書いてください。

1. グループで話し合っ、募集条件に関しては納得できましたか。できない人はなぜですか。

2. 他のグループの発表を聞いて「そんな人も必要だな」と思った人がいましたか。誰ですか。

3. あなたは、自分のその会社で、どんな仕事をしますか。どんな役割をしますか。

4. 5人雇うことはできません。3人しか雇えないとしたら、どんな人を3人雇いますか。
それぞれ理由をつけてください。

① 条 件： _____

理 由： _____

② 条 件： _____

理 由： _____

③ 条 件： _____

理 由： _____

5. 仕事のパートナーとして、1人しか雇えないとしたら、どんな人を雇いますか。理由も書いてください。

6. 実際にあなたが就職するのなら、上記の5人の中で誰に一番近いですか。それはなぜですか。

7. 今日の授業のねらいは、何だったと思いますか。

～あなたの会社を作りましょう～

あなたは、以前から夢があります。

あなたの国の「〇〇〇」を日本で売ることです。（〇〇〇は、各自で考えてください）

まだ日本では知られていないですが、「〇〇〇」は非常に有名ですごい商品です。

たぶん日本人も、気に入ると思いますし、ほしいと思うものです。

そして、あなたは長年の夢をかなえるためにお金を貯めて、日本で会社を興すことにしました。

事務所も、大阪の街で見つけることができました。

さあ、これから会社を作るために、何人かの人を雇わなければいけません。

今の予算の関係で5人の人間を募集して採用しようと思います。

新しい会社を立ち上げるために、あなたは、どんな人材を募集しますか。

会社を作るために必要な人材（職種、役割）とは、

「〇〇〇」を日本で売るために必要な人間（条件、資格）とは、

自分と一緒に働いてくれる人はどんな人がいいか、を考えて、

最終的には求人募集案内を作ってください。

例：経理、法務、営業、広報……これに相応する表現でもいい。どこまで出て来るか様子を見る。

1. まず、「〇〇〇」を売るために、どんな職種、役割があると思いますか。（何ができる人、何に詳しい人が必要だと思いますか。

必要な順に挙げて、その理由も答えてください。

この設問は、会社を機能させるためにどんな職種があり、どんな役割をしているかを考えさせるためのものである。場合によっては、偏りが出て来ると思うので、教員からヒントを出すほうがいいかもしれない。また優先順位をつけることで、自分の弱みが見えてくるので、理由は必須である。

2. 「△△△ができる人、何に詳しい人」がわかるためには、どんな条件、資格などが必要ですか。

「経験者優遇」や「資格」、出身学部の意味がわかるようになる。但し、資格や経験者は人件費が高くなることも指摘しておいた方がおもしろい。

3. その他に、どんな条件の人が来てほしいですか。

この辺りは、人柄や雰囲気などに言及されると思われる。

4. 以上の条件を考えて、募集要項を作ってみましょう。



名前_____。

★ 話し合いが終わってから、書いてください。

1. グループで話し合って、募集条件に関しては納得できましたか。できない人はなぜですか。

2. 他のグループの発表を聞いて「そんな人も必要だな」と思った人がいましたか。誰ですか。

1. 2. の質問は、話し合いに参加して不満がないか、あるいは新たな視点に気づいているかを確認します。

3. あなたは、自分のその会社で、どんな仕事をしますか。どんな役割をしますか。

3. 「社長」と答えたとき、実際社長は何をするのか、考えさせてください。

4. 5人雇うことはできません。3人しか雇えないとしたら、どんな人を3人雇いますか。それぞれ理由をつけてください。

① 条件： _____

理由： _____

② 条件： _____

理由： _____

③ 条件： _____

理由： _____

4. 5. はメンバーを選抜していく過程で、自分の弱みを補ってくれる人間を探していると思います。なぜ選んだかが重要です。

5. 仕事のパートナーとして、1人しか雇えないとしたら、どんな人を雇いますか。理由も書いてください。

4. 5. を経て、6. で自分は人に求められる人材かを改めて質問します。この5人に入らないというのなら、それはなぜか、自分の強みや弱みに対する理解度が見えてきます。

6. 実際にあなたが就職するのなら、上記の5人の中で誰に一番近いですか。それはなぜですか。

7. ねらいを問う問題があるが、これは単純に会話を楽しんだりするのではなく、「なぜこのテーマで話し合ったのか」教員の意図を推測させることがねらい。この問いに対して様々な答が得られれば、学生自身が腑に落ちているということになる。従来の正解主義ではなく、授業の意図を自分なりに積極的に考えるようになる。口頭で確認してもよいが、「させられている学生」を減少させるための質問でもある。

7. 今日の授業のねらいをどう思いますか。